

平成 27 年 8 月 31 日

関係機関の長 殿  
関係学部の長 殿  
関係学科の長 殿

名古屋大学年代測定総合研究センター長  
榎並 正樹

### 教員の公募について（依頼）

拝啓

皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび名古屋大学年代測定総合研究センターでは、下記の要領にしたがい教員を公募することになりました。

つきましては、貴学（機関）関係者への周知ならびに適任者のご推薦について、よろしくお取り計らいくださるようお願い申し上げます。

敬具

### 記

#### 1 公募職種 名古屋大学宇宙地球環境研究所教授※（1名）

※ 年代測定総合研究センターは、平成 27 年 10 月 1 日に学内の太陽地球環境研究所および地球水循環研究センターとともに、新設の宇宙地球環境研究所として統合され、それにもない同センターの構成員は新研究所へ配置換えされる予定です。

#### 2 採用予定年月 平成 28 年 4 月以降の出来るだけ早い時期

#### 3 応募資格・要件

- (1) これまでに年代学研究に関連する優れた業績があり、特に加速器質量分析計を用いた研究分野において、他の教員と連携・協力して、年代学的研究を推進できること。
- (2) 年代学を中心とした研究に従事するとともに、組織運営に積極的にかかわり、所属予定の宇宙地球環境研究所の発展に貢献できること。
- (3) 全学教育科目等の授業および大学院教育を担当できること。
- (4) 博士の学位を有すること。
- (5) 日本語で教育が行えること。

#### 4 提出書類

- (1) 履歴書（写真を添付すること）
- (2) 研究業績一覧（査読論文とそれ以外を区別）
- (3) 著書・学術論文のうち、主要なもの5編について別刷りまたはコピー
- (4) これまでの研究業績，教育業績，社会的貢献の概要（合わせて2000字程度でまとめること）
- (5) 就任後の抱負（年代測定総合研究センターにおける教育研究のあり方と将来計画等について，1500字程度でまとめること）
- (6) 外部資金の取得状況およびその他参考となる事項

#### 5 応募締切 平成27年10月30日（金）必着

#### 6 選考方法

創設予定の名古屋大学宇宙地球環境研究所人事選考委員会において，候補者を選考する。

なお，場合によっては，人事選考委員会で面接を行うこともある。  
最終候補者は，宇宙地球環境研究所教授会において選考を行う。

#### 7 問い合わせ先

名古屋大学年代測定総合研究センター 榎並正樹 (enami@nagoya-u.jp)  
(平成27年10月1日より，名古屋大学宇宙地球環境研究所 基盤研究部門年代測定研究部に配置換えとなります。)

#### 8 応募書類送付先

〒464-8602 名古屋市千種区不老町  
名古屋大学年代測定総合研究センター

なお，平成27年10月1日以降に，応募書類を提出される場合は，  
名古屋大学 宇宙地球環境研究所 基盤研究部門年代測定研究部あてに  
送付願います。

電話：052（789）2579，FAX：052（789）3092

(応募書類の封筒に「教授応募書類在中」と朱書し，簡易書留で郵送のこと)  
個人情報とは本件に関する以外には使用しません。なお，提出書類は原則として返却しません。

#### 9 名古屋大学は男女共同参画を推進しています。業績等（研究業績，教育業績，社会的貢献，人物を含む）の評価において同等と認められた場合には，女性を積極的に採用します。

(参考)

## 名古屋大学年代測定総合研究センターおよび宇宙地球環境研究所の概要と構成

名古屋大学年代測定総合研究センターは、平成 12 年 4 月 1 日に学内共同教育研究施設として創設されました。これは、平成 2 年 6 月 8 日に発足した年代測定資料研究センターを改組したものです。

年代測定総合研究センターは、タンデトロン加速器質量分析計を用いる放射性炭素  $^{14}\text{C}$  年代測定法により考古学・文化財科学関連資料や地質学関連試料の年代測定研究を推進する「タンデトロン年代研究分野」と電子プローブマイクロアナライザーを用いるウラン・トリウム・鉛年代測定法により古い岩石試料の年代測定や新しい測定法の開発研究を推進する「新年代測定法開発研究分野」から構成されます。5名の教員が相互に連携をとりながら、多様な研究を進めると共に、環境学研究科の地球史学講座（協力講座）構成員として、大学院教育に携わっています。

なお、本センターは、平成 27 年 10 月 1 日に学内の太陽地球環境研究所および地球水循環研究センターとともに、宇宙地球環境研究所を創設します。それにともない構成員は新研究所へ配置換えされる予定です。新研究所は共同利用・共同研究拠点の申請中であり、本センターの構成員は、新たに立ち上げられるプロジェクトへ積極的に参加します。それと同時に、従来通り年代測定分野をはじめとして様々な分野の教育・研究を遂行するとともに、大学院環境学研究科地球史学講座構成員として大学院教育に携わり、特に同研究科地球環境科学専攻等と教育・研究の両面にわたって密接な連携を図っていきます。

### (1) タンデトロン年代研究分野

教授： (今回の公募)

准教授： 南 雅代：地球化学

助教： 小田寛貴：文化財科学・放射化学

### (2) 新年代測定法開発研究分野

教授： 榎並正樹（センター長）岩石学・結晶化学

准教授： 加藤丈典：地質年代学・岩石学

名古屋大学年代測定総合研究センターのこれまでの諸活動については、ホームページ (<http://www.nendai.nagoya-u.ac.jp/>) をご覧ください。